

自然な暮らしの、おすそわけ。

2024.10 #50



ふんわり

ペーパーレスへ
web版、配信中。



▷ふんわりすと|森の寺子屋 館柳智美さん・河野美佳さん

▷サステイナライフ森の家|できるところはDIYで 自然素材で部分リフォーム ▷しんりん|クマの理解度チェック!!

自然な暮らしの、 おすそわけ。

Cover Story

智美さんと美佳さんで通称『さとみか』コンビ。息のあったお二人の掛け合いは『さとみかコント』と言われることもあるとか?!



編集長の
ひとりごと

やっと、暑さが和らぎましたね。山間に住む私は、少しですが夜に薪ストーブを使い始めました。収穫の秋、東北の短い秋を満喫したいですね。神楽の皆さん、秋はイベントで大忙しの事です。真夏に作った紙面ですが、どろろに神楽、炊き込みご飯、秋を感じる内容になりました。今年のお米は美味しいかな。

funwari
events
info

ふんわりすと 森の寺子屋 館柳智美さん・河野美佳さん	2
イベント funwari events info	3
サスティナライフ森の家 できるところはDIYで 自然素材で部分リフォーム	4
KURIMOKU 役目を終えた後もその後続くモノづくり	5
連載 funwari 児童文学「結局できずじまい」	5
鳴子温泉もりたびの会 番外編「鳴子温泉川渡での暮らし」	6
KURIMOKU×ウェスタ 熱供給、はじまる。	7
鳴子こども園 ああ、さもちよがったあー!	7
連載 かぐら げんざい かこ みらい	8
キッズシェフの親子でお料理楽しもう 鯖缶でつくる、炊き込み混ぜご飯	9
連載 木の図鑑ミズナラ・コナラ	10
しんりん クマの理解度チェック!!	11
About Us キーワードはふんわり。	12
プレゼントコーナー スギの端材でつくった木製定規／ブロックメモ	12

KURIMOKU 栗原苔フェスティバル2024

10/26(土)10:00~14:00

KURIMOKU 出店日
場所▷宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地
※当イベントは10月27日と2日間開催

鳴子温泉もりたびの会 第6回こけしの森植樹祭

11/16(土) 9:00

2019年から続く、こけしの材料になる白い肌の木「ミズキ」の植樹活動。場所▷エコラの森（宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木70）参加費▷大人 2,000円／中学生以下 1,000円／未就学児 無料※保護者の参加必須 服装/持ち物▷作業に適した汚れても良い服装（長袖・長ズボン・長靴等）、軍手、雨合羽、タオル、飲み物 詳しくは<https://n-koshiki.co.jp>にて

No staples. ホチキスを使わずに。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけどちょっとやさしい。どうかご理解ください。

ふんわりすと

それぞれの場所で輝きながら、
ずっと立っている人に、会いにいきました。
「わたしは、こっち。」
さて、あなたは?



Instagram



HP

もりのてらこや

森の寺子屋

宮城県仙台市

河野美佳さん

Kono Mika

館柳智美さん

Tateyanagi Satomi

しい時代の寺子屋 森の寺子屋」でした。
1年半前、周囲の人たちに「2024年4月に森の寺子屋を開校する」と公言。準備を開始したものの、活動の主軸となる拠点がなかなか見つからず、周囲から「もう今からじゃ無理では?」という声が聞こえ始めた昨年10月、現在の拠点である築180年の古民家の紹介を受けました。仙台市内でありながら自然豊かな里山で、畑や果樹があり、道端には食べられる草がたくさん生えている、二人がイメージした通りの場所でした。「言葉っていいのかな。言葉に出しておいてよかったって思います。」
クラウドファンディングで賛同者から古民家改修の資金を募り、工事を行ったのが今年3月。そして4月の開校と、すごいスピードで準備を乗り越えてきたお二人。きつと物凄く大変だったはずなのに、「まだ半年しかたっていないのに、遠い昔のようだよね」と顔を見合せて笑う二人の間に流れているのは、どこまでもほんわかとした空気感です。



オルタナティブスクール◆公教育とは異なった独自の教育理念で運営されている学校の総称。卒業資格が得られないので、地元の公立小学校に籍を残しておくことが必要です。



全部が「あり」。
こうじゃなきゃいけないはない。
子どもたちと里山で季節を楽しむ、館柳智美さんと河野美佳さん。ここは、仙台市泉区泉ヶ岳の麓にある、オルタナティブスクール『森の寺子屋』です。ここに通う小学1〜3年生の子どもたちは、公教育とは一味違う、生きる上で必要な知識を日々遊びながら学んでいます。
河野さんは元公立小学校の先生。教員として日々やりがいを感じながらも、子どもたちにもっと体験を通して「生きた学び」を伝えたいと感じていました。一方、料理教室を主催していた館柳さんは、辿り着いた原点「食べることは生きること」から、食育に重点を置いた親子対象の青空活動を始めていました。そんなお二人が、それぞれ胸に温めていた想いや夢を共有し、タッグを組んで生み出したのが、「子供を真ん中に自分らしく生き抜く力を育む新



子どもたちの意見を取り入れ、臨機応変に変化させて楽しみます。予定していたことが変更になることも、2つの結果になることも全部が「あり」なのです。

Q 最近よく聞く「アップサイクル」とは？

A 廃棄される物の特徴を生かしたまま、デザインやアイデアによって新たな価値を持たせて作り替えることです。

まだまだ使い道のありそうな材料。
役目を終えても、カンナで表面を削れば
見違えるほど、ピカピカに。



QRを読み込めば、
WEB版で「ふんわり」が読める！
スマホスタンドとしても
お使いいただけます。



余った材を再加工
して、箸置きに。

パッチやストラップなどの
ワンポイントアイテムに変身。



商品アイデアアンケート
あなたの「欲しい」を
教えてください。



Instagram



Facebook

funwari 児童文学

ふんわりスタッフ
おすすめの
児童文学を
紹介します

結局できずじまい

出版社：講談社
発売日 2013年1月17日

著者：ヨシタケ シンスケ

誰かに分かってほしいけど、伝えづらい世界観をヨシタケシンスケさんの
ほっこりしたイラストで笑えてしまいます。絶対共感！
生きづらいこの世の中を生きる大人たちに読んでほしいと思います。



できるところはDIYで 自然素材で部分リフォーム



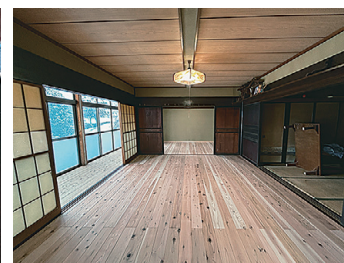
壁に漆喰を塗ったり床にワックスを塗ったり。本格的な方はフローリングの貼り替えや、棚を作成したりなど、特にリフォームの場面においてDIYに挑戦される方が増えています。
ふんわりすともご紹介した「森の寺子屋さん」の内装を参考に、体にやさしい自然素材を使ったDIY併用リフォームの一例をちょっとご紹介させていただきます。



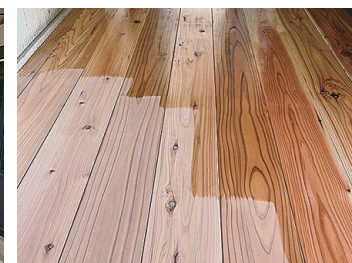
今回改修した築180年の古民家。



元々量数きだった床を、無垢のスギフローリングに。大工さんの施工です。



無垢の床にワックスを塗布。水を弾いて表面を保護します。こちらはDIY施工。サスティナオリジナルブレンドの無添加ワックスは、子どもたちが寝転がっても安心安全です◎



フローリングはサスティナにて施工しましたが、壁はDIYで漆喰を塗りたいたのご希望でした。



しっかりと養生をした後、クリーム状の漆喰をDIYで塗っていきます。



職人さんのような仕上がりとはいきませんが、力を合わせて仕上げた壁は、塗りムラもまた良い「味」です。

サスティナライフの厳選素材で「部分（または全体）リフォームをしたい」、「ここはDIYで仕上げるのでこの部分だけ施工をお願いしたい」、「材料のみ購入したい」など、ご希望、ご予算を伺った上でご提案させていただきます。まずはお気軽にご相談ください。



お問合せはこちら

鳴子温泉もりたびの会は、「もり」の資源を活用し、鳴子に新しい「たび」を提案する団体として2018年に設立されました。今回は、台湾から当会にワーキングホリデーに来てくれているビリーの目から見た鳴子での暮らしについて滞在記を書いてもらいました。

📷
ビリーさん
蔡 莘宥
(Tsai Hsin-Yu)

鳴子温泉川渡での暮らし

何から話せばいいでしょう？川渡での暮らしは、台湾では決して味わえない素晴らしい体験です。これほど森や川の近くに住んだことも、澄んだ空を見たことも、素敵な人々に出会ったこともあります。冬には雪が降るそうですが、滞在中の8～9月の気候はとても快適です。私が鳴子に着いた初日、全国こけし祭りが開催されていました。鳴子小学校の体育館で様々なこけしを見ました。そこで、5年来のこけしファンだという台湾から来た姉妹に出会いました！夕方には神輿やパレードを見ました。神輿や浴衣を来て踊る人たちがいて、忘れられない夜になりました。

2日目は、「準喫茶カガモク」という、こけし雑貨があちこちにある喫茶店を手伝いました。こけし祭りの影響で店内はこけし好きのお客さんで賑わっていました。そこで台湾が大好きなご夫婦と会いました。ご主人は4年前から中国語を習っているそうです。昨日こけし祭り会場でお話した台湾人姉妹ともお話ししたと言っていて、びっくり。その日の夜には、カフェオーナーのみちさん（と小学生の息子さん）が私のために歓迎会を開いてくれ、素晴らしい時間でした。みちさんは、近々イベントで演奏する予定のアコーディオンを弾いてくれました。とても良かったです。

川渡滞在中は、鳴子のエコツアー「AwesomeTours」もガイドするおさむさんと、湯沼周辺でのハイキングやバックラフト、鳴子周辺のサイクリングなど、いくつかのアウトドア・アクティビティを体験したり、一人で自転車で鳴子峡に

行ったりしました。息をのむような絶景ではないかもしれませんが、何度も何度も思い返すような景色であり、きっと四季折々に美しいところだろうと感じました。

また、ここでの暮らしの中で、たくさん素敵な人たちと出会っています。地元のおじいちゃんたちと卓球をしました（超楽しい！）。それから、この地域には温泉があるので、自宅にお風呂が無いおうちも多く、私も毎日共同浴場に通っています。激熱なお風呂に熱く感じずに入る方法をおばさんたちが教えてくれたりもしました（変な話だけど、本当です）。この人たちはみんな親切で温かく、親切でエネルギーです！

鳴子地域の温泉文化や歴史も学びました。日本ある10種類の泉質のうち、鳴子温泉には7種類の泉質があり、その熱を利用した発電や融雪、暖房などエネルギーを無駄なく利用した持続可能で環境に優しい取り組みが行われていることも学びました。

みなさんも是非鳴子温泉郷を訪れみてください。数日、あるいは1～2週間滞在した方がいいでしょう。私が、この土地の歴史や文化を学んだり美しい景色や人々と出逢い心の平穏を見つけたように、きっと、これまでに感じたことのない安らぎと充足感が得られるはずです。

English:

Chinese:

The life in Kawatabi, Naruko-Onsen

Where do I even begin? The life in Kawatabi is such a wonderful experience that I'll never have back in Taiwan.

Never been so close to the forest, never been so close to the river. Never saw the clearer sky than here, never met as much as lovely people here. The weather here in August/September is just perfect.

川渡温泉の生活

何処何処から？ 這樣的環境，在川渡溫泉的生活真是在台灣不會有的完美體驗。

從來沒有這麼接近森林及河流的境地，從來沒有見過比這裡更清澈的河水，從來沒有見過比這裡更藍的天，從來沒有見過比這裡更可愛的人，這裡的氣候完美，少了都市大樓的喧鬧，多了自然之美的寧靜，這是一個轉角而來的絕佳機會，在八九月的天氣剛好完美。

も中 英
公 語
開 語
閉 語
中 版
と 版
で



You can access the translated version (English and Chinese) on the last page of the PDF file. 您可以在 PDF 檔案的最後一頁取得翻譯版本 (英文和中文)。

熱供給、はじまる。

今夏、鳴子こども園へ木質バイオマスによる熱供給が始まりました。給食やシャワー用の温水の供給と、冷暖房用の冷水と温水の供給です。園舎の床下にある空調機で温風や冷風にして園舎全体の空調を行っています。寒い冬は薪ストーブとペレットストーブと併用して頂いています。

こども園に隣接する場所に「上鳴子バイオマス熱供給施設」があります。建物の中に木質チップボイラーとお湯を貯めるタンク、お湯から冷水をつくる吸収式冷水器があります。

宮城県北部で伐採された木材をチップ化した物を燃料にしています。建築や家具に使えなかった樹が原材料になります。自分たちの生活圏内で育まれた森林資源が、エネルギー源となっています。

化石燃料の使用を極力減らして園児を始めとした子供たちが大きくなった時に地球環境が守られている事、子供たちが、木が燃える事で部屋が温まったり涼しくなったりを体験して、成長してくれる事を願っています。

将来的に近くの温泉施設への熱供給の計画も進んでいます。鳴子こども園は、日本では珍しい化石燃料を使用しない地域熱供給のモデルケースです。

木質バイオマスボイラーは、瞬間湯沸し器のようにすぐにお湯を作ることができます。ですが大量のお湯を作る事に向いているボイラーです。ヨーロッパでは、地域全体で大きな木質バイオマスボイラーで効率的に大量のお湯を作りタンクに貯めて地域内の家庭に断熱パイプでお湯を供給する地域熱供給が広がっています。



KURIMOKU
ウェスタ

KW

ああ、きもちよがったあー！



園の近くにある川で今年はじめて水遊びをしました。散歩のときにたまたま見つけた場所で、いざ心はずませ川に行ってみると、最初はこわくて入れませんでした。しかし、ひとりまたひとり入り始めるとなんのことはない泳いだり、ペットボトルで水を何度もすくったり、大きな石を繰り返して川に落としたり、綱ですくった生きものをじっと見つめたり、滝に手や頭を突っ込んで「うわあ！すごい」と絶叫。まさに水を得た魚です。もちろん遊びの中にも、川の水の冷たさや水深の違いに気づく、水流を肌で感じるなど無意識の学びがいっぱい。ある子は「休みだった〇〇くんや〇〇さんも連れてこようね」と言いま

した。おとなや友だちとすごす楽しい時間は生きる喜びです。「自分が大切にされている」ことにほかなりません。するうちに秘めた友だちを思いやる気持ちがヒョコリ芽を出すんですね。これがまた不思議なんです。おとなから見れば本当に何げない短いひと時です。「ただあそんでだけじゃないか」と思うかもしれませんが。ところがどっこい！生きる力につながる学びや育ちがギュッ！と。なのに、川からあがった子が放った言葉は「ああ、きもちよがったあー」。これがこの時期に大切にしたい遊びの醍醐味。もっともっと「ああ、きもちよがったあー！」って言葉が出てくる体験をいっぱいしたいですね。

鳴子温泉にある
社会福祉法人鳴子こども園と申します。

Chef MISORA&
NANAKO mama

recipe:6

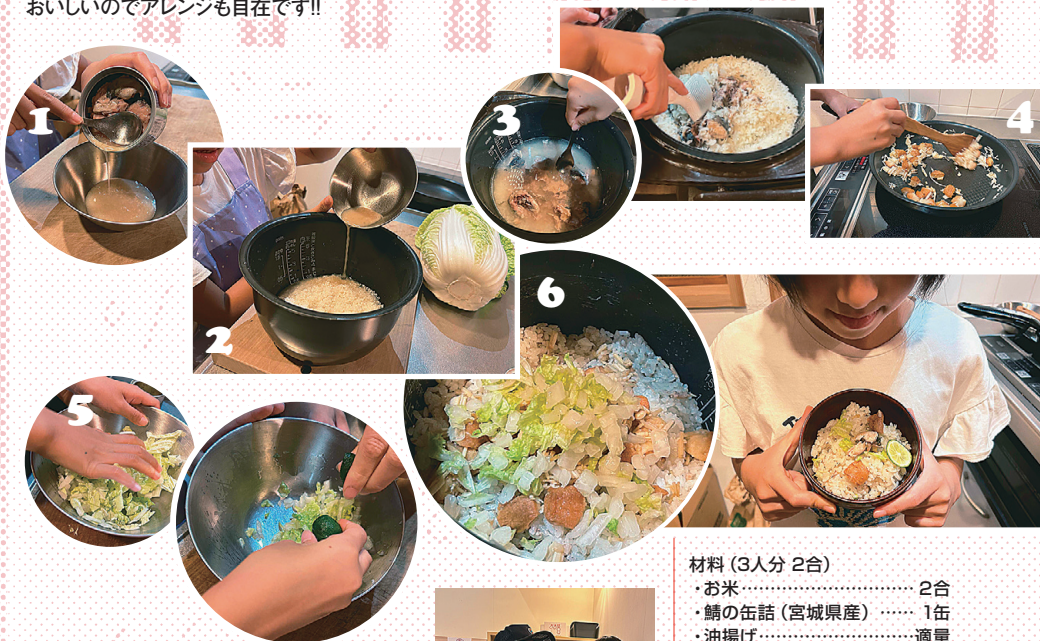
キッズシェフの 親子でお料理 楽しもう!



- 1 鯖の水煮缶を具と水分に分ける。
- 2 炊飯器にお米と鯖缶の水分をいれてから、水を規定量まで入れる。
- 3 鯖缶の具を入れて炊き上げる。炊き上がった後、具をほぐしてよく混ぜる。
- 4 油揚げとキノコを炒めて、薄口しょうゆでしっかり目に味付け(味の濃さは炊き込みご飯の味で調整してください。)
- 5 白菜を千切りにして塩もみし、水分を絞ったら、柑橘を絞ってあえる。
- 6 4と5を炊き込みご飯に混ぜて出来上がり。

小学2年生の女の子が親子で作れるメニューを作ります。
毎回フランス料理のシェフ(女の子の伯父さん)が
子供でも作りやすくおいしいメニューを考えてくれます!!

今回は、宮城県名産の鯖!!今回は鯖の水煮缶を使った炊き込みご飯!!旬の食材を後から混ぜて
「炊き込み混ぜご飯」に!!白菜のシャキシャキと柑橘の酸味が食欲UP!!ベースの炊き込みご飯が
おいしいのでアレンジも自在です!!



鯖缶でつくる
炊き込み
混ぜご飯

材料 (3人分 2合)

- ・お米..... 2合
- ・鯖の水煮缶(宮城県産)..... 1缶
- ・油揚げ..... 適量
- ・キノコ(今回はエノキ)..... 適量
- ※お好きな旬の具材を混ぜてみよう。
こんにゃく、ニンジン、ゴボウ、シイタケetc.
- ・白菜..... 適量
- ・柑橘(今回はスダチ)..... 適量
- ※今回は徳島土産のスダチを使いましたが、
ゆずやレモンもおすすめです。



讃岐おもちゃ美術館でシェフとキッズシェフでツーショット!!

かぐら
げんざい
かこ
みらい

02



くりはら万葉祭 伝能芸能担当
真山神楽保存会
上野目神楽鶏舞伝承クラブ
山蔦 翼 (43)



Facebook

前号から始まった、上野目神楽鶏舞伝承クラブの山蔦翼さんによるコラム。人と神楽、そして暮らしや歴史までもが交差する現在地。そこに浮かび上がるものを徒然にお届けします。

南部神楽と再会したのは28歳の夏。くりはら万葉祭にて十数年ぶりに神楽太鼓に遭遇し、クラブやライブでは感じたことがないほどの、腹をえぐられるような衝撃を受けました。

その日の胴(※太鼓と唄)は、当時30歳、中野神楽の佐藤高広さん。

軽快かつ凛としたバチさばきで刻まれるビートは精緻で高揚感があり、重なる唄声は、花と枯れが共存するような老練さで、神聖な空気を漂わせ、われわれ観客の胸は鷲掴みにされました。

「田舎の芸能・田舎のお兄さんと侮るなけれ!これは究めた者の領域なぞぞ!!(私の勝手な声)」。

全く予想もしていないクオリティの高さに、私は腹にファーストパンチを食いました。

続いてセカンドパンチ!なまじ神楽を聴いて育った分、身体に染みついた神楽太鼓の記憶が腹の中で息苦しく暴れ出し、同時に、神楽好きだった亡き祖父や隣の和尚・大叔父たちの記憶も蘇り、(たしか)涙も流れ、「私が神楽のある土地に育った証明」を感じさせられたときでした。

じいちゃんたちは何が楽しくてお神楽を見に行かたに泥酔して帰ってきていたのか? 子どもの頃の謎が、少しずつわかるように

なって楽しくなり、今は真山神楽と上野目神楽の演者として深入りをしているところです。

みなさんの地域の伝統芸能も同じではないでしょうか。当たり前のようにそこにあり、人気な娯楽と比べれば霞んでしまうけど、よく観るとクオリティが高くて、どの動きも音も衣装も今の時代では思いつかない独自性がある祈りの美。動きの無駄のなさは用の美で、民俗的歴史の詰まった美術館で、地域の世代・時代をつなげる大切な石碑のような存在で。

また、私だけかもしれませんが、伝統芸能を地域の宝としてだけでなく、世界の資源としても捉えています。世界中のアートもファッションも音楽も、どこかの地域の「祈りの美」の影響を受けていることは多いのですから、クリエイティブさが前面に立つ今の時代であっても、クリエイティビティの源となる「祈りの美」を伝承することは「資源の確保」として重責です。

急速に世界が平準化している今の時代。地域の誇りも宝も、多くの伝統芸能も、声もなく静かに消え失せようとしています。さて、これから私たちは子どもたちにどんな宝・誇りを遺せるでしょうか。次代に伝えるのは、いよいよ私たち世代の番です。

私の憧れ、佐藤高広さん栗原の若手神楽師たちのスペシャルユニット「神友楽」のyoutubeチャンネルはこちら

<https://www.youtube.com/channel/UCZbseCmrNKMGPjz6-G3mfA>

神楽文化を次代に遺すため、栗原の各地域に古より伝わる南部神楽の担い手が流儀の壁を越え、集結しました。

地域の誇り
クリエイティブの源





Let's Check! クマの理解度チェック!!

宮城県に棲むのは、ツキノワグマ。
彼らの話をします。

ちなみに九州では棲息域の森林減少で絶滅してしまいました。

ヒトも距離感・マナーを守ろう!

- ✓ 人間の鈍感さ、運動能力はかないっこない。知識を盾にクマとのルールを守ろう。
- ✓ 来てほしくなければ、クマと人間どちらの棲息域かわからない場所(藪など)はつくらない。
- ✓ クマの棲息域やその周辺は、クマが好きなもの(ジュースやお菓子も)を屋外に放置しない。
- 木の实や農作物などはすぐに収穫する。
- ✓ 山菜狩り、きのこ狩りは、クマと目的が一緒に遭遇しやすいことを心得る。
- ✓ クマの棲息域(曖昧な場所)では出会う前に常に予防策。

熊鈴などで「ここに居るよ」アピール。そして走らないこと!

✓ ヒトがクマに気づいたときは…

既にクマは動揺している。手の上げ下げ等、少しの動きも威嚇だと思って襲ってくるかも。声や音、動きもそのまま最小限に。すぐ近くなクマが去ってから、程々の距離なら遭遇時のポーズでそっと後ずさりしその場を離れよう。〈万一襲われたら首や頭を腕でガードしお腹を地面などで守ること!〉

- ✓ 子熊を見たら用心棒の母熊が襲ってくるかも!(更に周囲に注意し↑のようにそっと立ち去ろう)
- ✓ 気温や積雪状況によって冬動くクマも。
- ✓ 山のクマの食べ物の増減を知って行動を。

山で飢えたと里に来やすい。
食べ物豊富な年の翌年は子熊連れが増えやすい。



クマってどんな動物?

✓ 棲息域は、森林。いわゆる「山」。

基本、ひと気を避け薄暗い時間や場所で行動します。

✓ 食べ物

木の实や花、山菜がベースでその葉境期にハチやアリの昆虫を食べる。獣を狩りして食べることは稀。出産直後の子鹿や残雪の春先に死骸を食べる程度。ナッツ・果実類は大好物♡

甘党♡揮発性液体(ガソリン、シンナー等)も♡

食物が少ない時期はお腹が空いて遠出することも。

✓ 嗅覚は犬以上とも。目も人並み以上。

✓ 基本、人間を刺激しないよう観察・行動しています。

臆病。「人間が出た!!」クマも人間を避けるのに…遭遇すると動揺・パニック。身を護るため、最終手段で手を出すことも。

✓ 背を向け逃げる動物をなぜか追ってしまう習性アリ。

✓ 運動神経抜群。足も速く(時速50km)木登りも、泳ぎも得意。体も柔らかい。

✓ クマの動向は?

子育ては2年間くらい。お母さんは必死。

冬眠といっても起きています。

冬眠中に1~2頭出産。木の实の成り(豊凶)*に合わせて出産ラッシュ年がある。

木の図鑑ページも見てね

…とは言え、たった100年の間に自分の暮らしだけでなく、地球規模で気候や資源、他の生きものの環境まで変えてしまった人間。その影響はクマの食べ物や棲息域の増減にも及び、更には猟師は減ってクマは人間を知らなくなり、人間はスマホで「目撃情報」をたくさん発信できるようになり、関係性は刻々と変わっています。

お互いを正しく畏れ、尊重しあう暮らしができるといいなあ、と思います。



ミズナラ

花は5~6月頃、葉と一緒に芽吹き、黄色い紐みたい(花の集合体)にぶら下がる。雨あがりなど終わった花が紐ごと地面にたくさん落ちていたこともある。

ミズナラ(水櫓) *Quercus crispula* コナラ(小櫓) *Quercus serrata*

今回は鳴子のきこりが「ナラ」のイメージをご紹介します。「ナラ」とひとくくりで呼ぶことが多いですが、じつは「コナラ」と「ミズナラ」があります。その違いは…?

ツルつと細長い実に、ベレー帽。どんぐりの木というと、鳴子ではコナラが代表的です。いわゆる雑木林を成すことが多く、昔から里の近くにあつて薪などとして活用されてきました。それよりも奥深く山に登って分け入ると、どつしりと厳かにたたずむのがミズナラです。コナラ(小櫓)に対してオオナラ(大櫓)と呼ばれる程で、葉や幹周りもひと回り程大きい印象。どんぐりもコナラのをずっしりと大きくした感じで、拾うと自慢したくなるようなビカビカの実です。

このどんぐり、虫、鳥、哺乳類の大好物。ツキノワグマも枝の上では串団子のように豪快に食べ、地面に落ちたものも黙々と食すほどです。人間も大昔は食糧だった名残か本能かなぜか拾ってしましますよね。「ナッツ」だから大人気。成分はデンプン、脂質等です。特に冬が近づくと、脂質と糖質を摂ってしまうのは生き物の性です。

どんぐりのおいしい部分はタネ、親木が赤ちゃんへ持たせた唯一のお弁当です。贅沢なタネ作りは親も大変。毎年は厳しくたくさん実る豊作の年と凶作の年があります。天敵である動物たちに食べつくされ減びないのも、凶作の年があることで敵の数が減り、そこに豊作を迎え食べ残させる、という戦略があるとかないとか。ただ近年の気候変動で豊凶のリズムも変化しているようです。

今年は昨年より実が多い気がしますが、いかに…?!

ミズナラ

葉の付け根の柄が無いように見える。
(柄の両側にまで耳たぶのように葉が続いている。)

コナラ

葉の付け根の柄がしっかりあり、はっきりしている。
(両側には葉が続いていない。)



ミズナラ

Naruko Onsen Mori Tabi no Kai was established in 2018 as an organization that provides new "Tabi=trips" to Naruko by utilizing the resources of "Mori-forest". In this issue, we asked Billy, a working holiday guest from Taiwan, to write about her stay in Naruko from her point of view.



ビリーさん
蔡 幸宥
Tsai Hsin-Yu

The life in Kawatabi, Naruko-Onsen

Where do I even begin? The life in Kawatabi is such a wonderful experience that I'll never have back in Taiwan.

Never been so close to the forest, never been so close to the river. Never saw the clearer sky than here, never met as much as lovely people here. The weather here in August/September is just perfect.

The first day I arrived here, is the day when the Kokeshi festival held. I went to the gymnasium of Naruko Elementary School, to see various type of Kokeshi dolls. And I encountered two sisters who came from Taiwan. They said they are Kokeshi fans and have been attending the festival for five years!

Then later at the evening, there was a portable shrine parade which go all the way to public square called "Naruko Onsen Yumeguri Hiroba". It was cool to walk with the parade, and it was an unforgettable night.

On the second day, I helped out at a cafe shop called Junkissa-Kagamoku where full of Kokeshi handicrafts. The coffee shop is crowded with people because of Kokeshi festival, I even met a potter couple, the husband love Taiwan so much that he learned Mandarin for since four years ago. He met the same two sister as I did yesterday, and heard of there is another Taiwanese here! What a coincidence!



鳴子温泉もりたびの会 会員 番外編 MoriTabi's Member's Report Special Edition

at night, Michi san, the owner of the cafe shop, held a welcome party for me. at the party after dinner, Michi san showed me her accordions, and let me try to play. It was so awesome.

During the stay in Kawatabi, i did some outdoor activities, such as hiking around Katanuma, packrafting on the lake, biking around Naruko area or to the Naruko Gorge, the scenery may not be the most astonishing one, but definitely is that kind of memory that you'll recall again and again. Because there is always more beautiful scenery at every turn.

I also met a lot of lovely people, went to play ping pong with local people (super fun!), and the ladies I encountered in common bath taught me how to cool down when the hot spring is too hot. (sound weird but it's true.)

people here are all kind and warm and obliging.

Not only did I experienced the life in Kawatabi, I also learned the culture of Hot Spring and the history of Naruko area, including that among the 10 types of hot springs in Japan, Naruko Hot Spring has 7 types of springs. and they use the heat of hot springs to do a lot of things, it's really eco-friendly thing!

I found my inner peace through living here, the history, the culture, the landscape, and the people, they all helped a lot.

Come and visit Naruko! it's better stay for a few days, maybe one or two weeks. It will definitely make you find the peace you want.

ふんわり 第50号 2024年10月10日発行 ふんわり編集部:宮城県栗原市栗駒片子沢山城54番 ☎0228-24-7327 印刷:コンカツ印刷 岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

KURIMOKU

☎ 0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7



トレーサビリティの確かな丸太の製材と建築用材、木材のカスケード利用(木材の副産物利用・残材利用)により生まれた家具・木工品、木質パレットなど森林資源活用の中で作られた商品の提案と販売を行っています。

社会福祉法人 鳴子こども園



☎ 0229-83-2153
〒 989-6825 宮城県大崎市鳴子温泉字上鳴子 19-1
<https://narukodomoen.jp/>

私たちは鳴子温泉地域で「自然の中で生きる力」を目標に教育保育を行っている認定こども園です。鳴子は自然、特に森のめぐみに育まれてきた素晴らしいところです。そんな素敵なところに暮らしている子どもたちが「自然が大好き!」「鳴子に生まれてよかった」と感じ、生きる力が育まれることを願っています。

鳴子温泉もりたびの会



鳴子温泉字玉ノ木 70
<https://moritabi.org>

地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668
〒 981-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地 エコラの森内
<http://shinrin.org/>
<https://www.facebook.com/NPOSHINRIN/>
森林再生と地域活性化を旨とし、持続可能な森づくりときこの育成を実行中。



希望の番号・ご応募の方の住所とお名前(プレゼント送り先)を書いてメール(右のQRコード)か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。【①ふんわりを読んだ感想(気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど)②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】



1

スギの端材でつくった木製定規
試作品のため、寛大なきもちでご応募ください。メモリがやや不鮮明です。【右利きさん2名様/左利きさん1名様※ご希望のものを記載ください】



ふんわり編集部で
Facebookもやっています!!

ふんわり 第50号

2024年10月10日 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部 〒989-5333 宮城県栗原市栗駒片子沢山城54番
☎0228-24-7327 info@timberworkgroup.com
<https://www.facebook.com/freefunwari/>

キーワードを「ふんわり」にして
集まったわたしたち。
業種もフィールドも違うからこそ、
ユニークでオンリーワンで、
おもしろいことができそうです。

ウェスタ

☎ 0228-25-4714
〒 989-5333 宮城県栗原市栗駒片子沢山城 54
<https://woodenergy.co.jp>

木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、パレットストロー販売、熱供給を行っています!!

サスティナライフ 森の家

☎ 0120-317-618
〒 981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13
<https://www.sustainlife.co.jp/>
<https://www.facebook.com/sustainlife>

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。

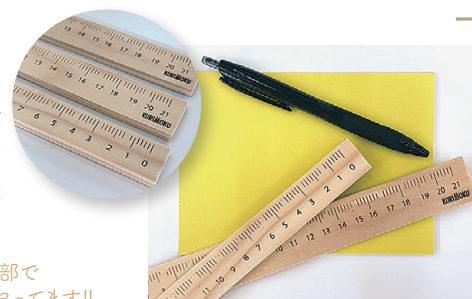
About Us

記事執筆・お問合せ...記事最後のアルファベットをご参照下さい

☒ サスティナライフ森の家
☒ NPO 法人 しんりん
☒ ウェスタ

☒ KURIMOKU
☒ 鳴子温泉もりたびの会
☒ 社会福祉法人鳴子こども園

プレゼント コーナー



森林認証紙で作った
10x10x10cmの立方体メモ【3名様】

応募券
2024年12月31日まで有効
点線で切り取り
要領に沿ってご応募ください

Naruko Onsen Mori Tabi no Kai 成立於 2018 年，是一個利用「Mori=森林」資源為 Naruko 提供新「Tabi=旅行」的組織。這一期，我們邀請了來自台灣的本會打工渡假訪客 Billy，以他的角度寫下他在鳴子溫泉的逗留。

M

ビリーさん

蔡 莘宥

Tsai Hsin-Yu



川渡溫泉的生活

該從何說起呢？這趟旅程。
在川渡溫泉的生活是我在台灣不會有的完美體驗。

從來沒有住在如此靠近森林及河流的地方，從來沒有見過比這裡更清澈的天空，從來沒有遇過比這裡更可愛的人。這裡的視野開闊，少了高樓大廈的阻擋，取而代之的是山與森林，每過一個轉角迎來的是更美的風景。他們說這裡冬天會下雪，而我覺得八九月的天氣剛好的完美。

在這裡的第一天正好在舉行祭典，Kokeshi Festival，Kokeshi 是一種用木頭做的小人偶，叫做木芥子。他們會在鳴子小學的體育館內展示許多傳統的木芥子，有大有小，參加的遊客自由的選購喜歡的木芥子，在體育館的外面也會有類似攤遊會的攤販，賣些咖啡、食物或其他與木芥子相關的小東西。

那天正坐著發呆的時候聽到有兩個女生很大聲的用中文交談，後來帶我的 Michi san 也跟我提到那兩個女生，說她們去年也有來參加木芥子節，而且也有去她的咖啡廳，於是我就去打了招呼，稍微有了一些交流。她們說自己是木芥子的粉絲，而且已經來五次了！

晚上會有遊行，人們抬著小型神社遊行，沿著街道喊著聲，一路走到鳴子溫泉的廣場，在那裡也會有人穿著傳統服飾跳著舞，很好玩！

在那裡也第一次看到「手湯」這種東西，超級有趣。

第二天去到 Michi 的咖啡廳「準喫茶力ガモク」幫忙。Michi 的咖啡廳充滿了木芥子的手工藝品，都是 Michi 的丈夫做的！而且 Michi 家的鍋具等生活用品，也看到木芥子的蹤影，超級可愛。

因為正值木芥子節，所以這一天的人潮絡繹不絕，還遇到了一對陶藝家夫婦，丈夫非常喜歡台灣，說他學了四年的中文，而且常常去台灣的文青市集賣他們的陶

鳴子温泉もりたびの会

會員採訪記
MoriTabi's Member's Report
Special Edition

藝品，超級漂亮！他們在結帳的時候問 Michi，我是不是台灣人。原來是他們昨天也有遇到那兩個女生，是一對姐妹，然後也是聽她們說這裡還有一個台灣人，超巧。

晚上，Michi 的兒子 Taihe 說想要辦一場歡迎會，所以就在咖啡店裡吃了晚餐，飯後 Michi 跟我介紹了手風琴，她即將要在接下來的祭典上演奏，好帥，而且她還讓我試試看，很有趣的體驗。

在川渡溫泉生活的期間，Osamu 帶我去了潟沼旁的登山小徑健行，在潟沼上划充氣艇，超級愜意！也帶我騎著腳踏車去環繞鳴子地區，我也自己騎著腳踏車去鳴子峽看回顧橋，回顧橋果然要秋天來，橘橘紅紅的才好看。這裡的风景可能不是最令人驚嘆的，但絕對會是你不斷想起的回憶。

我還遇到了很多可愛的人，和一些老爺爺一起打乒乓球，很歡樂也很有趣，老爺爺們都很厲害！

噢！對了！在這裡的房屋裡幾乎都沒有浴室，但這裡有超多溫泉澡堂，所以如果要洗澡就得去澡堂洗澡，真的有夠酷。我在澡堂遇到兩個老奶奶教我怎麼泡溫泉才不會太燙，有夠可愛。

這裡的人們都很善良、熱情、且樂於助人，也很有活力！

我不僅體驗了在川渡溫泉的生活，也學習到了日本的溫泉文化和鳴子地區的歷史，包括日本的 10 種溫泉中，鳴子鄉溫泉就有 7 種。而且他們也會利用溫泉的熱能做很多事情，像是利用熱能發電、融雪、加溫房子等等，這樣的能源利用，不浪費能源，有夠永續環保。

在這裡生活的日子裡，我找到了內心的平靜，不論是透過瞭解這裡的歷史、文化，或者漂亮的風景和人們，都讓我更加的接近自己的內心。

歡迎來鳴子鄉溫泉游玩！最好待上幾天，也許一週也許兩週，在這裡生活一定會讓你感受到前所會有的平靜及愜意。

